

一期一会ニュース

2016年5月22日発行

特定非営利活動法人一期一会（連絡先 ☎0463-97-0015）

発行責任者 川上道子

住民力の高い愛甲原住宅

50年の歴史を持つ愛甲原住宅、これまで厚木・伊勢原と行政の枠をこえて、住民力で町づくりを進めてきた住民力の高い町です。

今回のニュースは、愛甲原住宅50年の歴史と地域福祉、NPO法人一期一会や学生たちの組織「COCOてらし隊」、住民同士支えあう町づくりのために組織した「COCOいきましょ会」の今年度の活動をご紹介します。

愛甲原住宅50年の歴史・地域福祉・NPO法人一期一会の主な活動

| | |
|--|---|
| 1968年（S41年） 分譲開始 | 2003年（H15年）“一人暮らしでも入浴と食事があれば暮らし続けられる” という声を受けて町の中心に「デイ愛甲原」 |
| 1968年（S43年） 厚木・伊勢原合同自治会発足 | 2006年（H18年）「信頼できる人と住み慣れた町で最期まで暮らしたい」「遠くの親戚より近くの他人」「知らない場所のショートステイはいや。」等、様々な声を受けて、 小規模多機能型居宅介護+ケア付きハウス（有料老人ホーム）併設の「風の丘」建築 |
| よろずやさん誘致 | |
| 1971年（S46年） 厚木原児童館開設 この住宅に集会場が無かった為、愛甲原住民で50万円集めて誘致 | |
| 1973年（S48年） 高森台児童館 愛甲原住宅全体で1,991,800円集め誘致 愛甲原新聞発行開始 | 2009年（H21年）「風の丘に入居してこの町に暮らし続けたい」のご要望を受け、 ケア付きハウス風の丘 増設 |
| 1980年（S55年） 自治会が各行政区に分かれる。「子ども会」も分かれるが、合同を希望する多数の声により「子ども神輿」は合同で続ける。 | 2012年（H24年）男性たちの地域デビューの場として「COCOてらす」開設 |
| 1988年（S63年） 愛甲原新聞廃刊 お宅の夕飯の一品を分けて下さらないとの声を受けて家事援助「伊勢原ホームサービス」発足 | 2013年4月（H25年） 町づくりのため、東海大学・湘北短期大学学生で「COCOてらし隊」発足 |
| 1998年（H10年） 高森台福祉の町づくり勉強会発足 「よろずやさんかいましょ運動」高森台長寿会から声上がる。 | 2015年9月（H27年） 第2段の町づくり勉強会から 地域の支えあい団体「COCOいきましょ会」発足 |